作成日：平成　　年　　　月　　　日

別添１－４

緊急時行動マニュアル（例）

企業名：

１．発動基準と発動時の行動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 地震 | 震度5強以上 | 微妙な場合は社長が判断し、「らくらく連絡網」で指示。 |
| 豪雨 | 雨量100mm/h以上、○○川の決壊、洪水警報発令時 |
| 台風 | 風速30m、暴風警報発令時 |

２．取るべき行動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 担当 | 行動 | 具体的内容、留意点等 |
| 緊急事態発生時 | 全員 | 避難場所への避難 | 地震：○○公園、交通遮断時：社長自宅 |
| 全員 | 非常用袋の携行 | 食料・飲料水（1日分）、懐中電灯、ラジオ等 |
| 全員 | 緊急連絡手段による安否報告 | らくらく連絡網（ID：yamada123） |
| 全員 | 会社からの連絡チェック | らくらく連絡網（ID：yamada123） |
| 状況で判断 | 設備、備品、書類の移動 | 最上階へ（津波、水害）、屋外へ（火災） |
| 状況で判断 | 応急処置、消火 | 消火器（火災）、土嚢（水害） |
| 状況で判断 | 警察、消防への通報 | 天井に火が回った時 |
| 当日～数日間 | 各担当課 | 被害状況の確認 | 建物、設備、重要書類、データ、通信、インフラ |
| 社長 | 当面の方針決定 | 当面の作業・行動、内部体制 |
| 社長 | 従業員参集指示 |  |
| 社長 | 勤務体制、担当決定 |  |
| 社長・営業課 | 取引先への被害状況報告 | 1. ○○工業、②△△産業、③◇◇機械 |
| 事務課 | 情報収集 | インフラ、交通、通信、道路 |
| 営業課・事務課 | 取引先、仕入先の被災状況把握 |  |
| 製造化・事務課 | 必要設備、機材等の確保 | 発電機（○○レンタル）、通信機器等 |
| 全員 | 地域貢献活動 | トラック・フォークリフト貸出、炊き出し |
| １週間以内 | 社長・課長 | 復旧への方針決定 | 目標復旧時期、中核事業 |
| 社長・製造課 | 当面の事業継続対策実施 | 生産体制、代替生産、代替原料等 |
| 製造課 | 設備等の被害調査・修理・調達 | 復旧見通し、復旧費用 |
| 事務課（鈴木） | 情報システムの回復 |  |
| 営業課・事務課 | 今後の見通し報告 | 取引先、仕入先、関係機関 |
| 事務課（田中） | 情報発信 | ＨＰ・Facebook |
| 事務課 | 情報収集 | 公的支援策、インフラ、交通 |
| 社長・事務課 | 財務予測 | 手元資金、入金・支払予定の確認 |
| １週間～１ヵ月 | 社長・事務課 | 資金調達 | ○○信金に融資相談、公的支援策、保険金 |
| 製造課・事務課 | 復旧工事管理 |  |
| 製造課 | 委託先管理 | 生産状況、品質管理 |
| 事務課・製造課 | 仕入先・原材料管理 | 在庫管理、代替先管理 |
| 社長・課長 | 定期会議 | 復旧状況と見通し、内部体制（３日に１回程度） |
| 社長・営業課 | 取引先への定期報告 | 復旧状況と見通し、生産計画（週１回程度） |
| 事務課（田中） | ＨＰ・Facebookの更新 | 復旧状況と見通し（３日に１回程度） |

３．緊急時内部体制

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部署 | リーダー | 代行者（通常は補佐） | 実務担当 | 留意事項 |
| 社長 | － | ①専務、②山田 | － | ・被害状況等により柔軟に変更  ・製造はこの機に技術伝承を進める  ・発生から１週間は、３交代体制（会社業務、地域貢献、休業）も検討  ・定期会議構成員は社長、専務、課長、鈴木（随時担当者も召集） |
| 製造課 | 山田課長 | ①本村、②三橋 | Ａ、Ｂ製造：山田、本村、大野  製品Ｃ、Ｄ、Ｅ製造：三橋、北原  その他：大野:、森田  メンテナンス：本村、三橋 |
| 営業課 | 吉田課長 | ①西本、②石井 | 東京産業：西本  大阪工業：石井  神奈川機械、その他：菅野 |
| 事務課 | 山下課長 | ①鈴木、②安藤 | 庶務：森  経理：久下  情報関連：鈴木、田中  仕入先・受発注：安藤、香川 |

４．重要業務１（東京産業向け製品Ｃ継続のための具体的業務と代替手段）：目標復旧時期１ヵ月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 具体的業務 | 代替手段１ | 代替手段2 | 備考 |
| Ｃ商事から原料Ｆの調達 | Ｍ販売からの調達 | Ｂ商事からの調達 |  |
| Ａ工業から原料Ｄの調達 | Ｅ社の原料Ｚ | なし | 加工助剤Ｘ1%添加必要 |
| 加工機Ｉの稼働 | 提携先（宮崎県伊藤工業）に製造委託 | なし | コスト20%アップ |
| 研磨 | 提携先（宮崎県伊藤工業）に委託 | なし | コスト20%アップ |
| Ｊ運輸による配送 | Ｖ社 | Ｗ社 |  |

５．重要業務２（大阪工業向け製品Ａ，Ｂ継続のための具体的業務と代替手段）：目標復旧時期６週間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 具体的業務 | 代替手段１ | 代替手段2 | 備考 |
| Ｍ製鋼から原料Ｎの調達 | Ｒ社の原料Ｓ | Ｋ社の原料Ｌ | 2は強度1%低下 |
| Ｐ産業から原料Ｑの調達 | Ｔ社の原料Ｕ | なし | コスト3%アップ |
| 加工機Ｆの稼働 | 前工程加工機Ｈ  後工程手作業 | 提携先（大分県山中製作所）に製造委託 | １は製造時間4割増  ２はコスト20%アップ |
| Ｇ検査装置による検査の実施 | 大阪工業に依頼 | なし | 単価5%割引 |
| Ｊ運輸による配送 | Ｖ社 | Ｗ社 |  |

６．人の代替

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業務の種類 | 業務（可能者） | 緊急代替策 | 中期的対応策 |
| 特定個人依存の業務 | 製品Ａの加工（山田） | 木村産業に外注 | 若手2人の育成・技術伝承 |
| 製品Ｂの研磨（本村） | 西山工業に外注 | 若手2人の育成・技術伝承 |
| 熟練者のみ可能な業務 | 加工機Ｆの調整（3名） | ＯＢ石川氏・中田氏に依頼 | 6人への技術指導 |
| 社員なら可能な業務 | 製品Ｂの加工 | ＯＢ・社員家族から募集 | 作業マニュアルの整備 |
| 誰でも可能な業務 | 検査、梱包・発送 | ＯＢ・社員家族から募集 | 社外協力者リストの整備 |

７．緊急時の代替インフラ

|  |  |
| --- | --- |
| 電気 | 小型発電機、手回し充電器、乾電池単１、単３、単４各12個ずつ |
| ガス | プロパンガス（ボンベ3本をＷガス店に発注）、 |
| 水道 | 飲料水2ℓ20本、ポリタンク10ℓ6個、井戸水 |
| 交通手段 | 自転車、バイク |